

# 103-300

## 問題文

本患者は敗血症と診断された。本患者の病態及び薬物治療に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 敗血症では白血球が減少することはない。
2. 敗血症は、症状と血液検査で疑い、血液培養を行い、病因診断を行う。
3. 患者の治療を優先するために、抗菌薬投与後に血液培養を行う。
4. 発熱は十分な輸液により改善する。
5. 治療後には腎機能の改善を認める。

---

## 解答

問300：2問301：2, 5

## 解説

### 問300

選択肢 1 ですが

ペニシリン系は、大腸菌を代表例としたグラム陰性桿菌には無効です。よって、推奨すべきではないと考えられます。

選択肢 3,5 ですが

これらはMRSAといった耐性菌に用いられる抗菌薬です。推奨すべき根拠がありません。よって、これらの選択肢は誤りと考えられます。

選択肢 4 ですが

エリスロマイシンは、適用菌種に大腸菌は含まれません。よって、推奨すべきではないと考えられます。

以上より、正解は 2 です。

セフェム系構成物質です。適切と考えられます。

### 問301

選択肢 1 ですが

診断基準の一つが、 $WBC > 12000$  or  $< 4000$  です。従って、減少することがないというのは明らかに誤りです。

選択肢 2 は、正しい記述です。

選択肢 3 ですが

抗菌薬投与後に血液培養を行ってしまうと、菌の検出可能性が減少してしまいます。本問症例では、輸液で状況が改善していることもふまえて考えると、不適切であると考えられます。

選択肢 4 ですが

少なくとも十分な輸液をすれば必ず改善する とはいえないだろうと考えることで、誤りと判断できます。

選択肢 5 は、正しい記述です。

急性の腎不全は可逆的機能不全です。

以上より、正解は 2,5 です。